

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月22日更新

事務事業名	放課後学童保育事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連		
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜
体系	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	二瀬 義継
	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2312
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	合志市放課後児童対策事業実施要綱 合志市放課後健全育成事業補助金交	合志市	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	児童の放課後の預かりを実施する各小学校保護者が運営する学童クラブに対して支援(5小学校)する事業。全国的に共働きなどにより居間親が家にいない家庭の学童を、放課後や休暇中に保育する必要性があり、1950年代から民間で始まったものに、76年に厚生省が同事業の助成を開始し、それを受けて西合志南、東小で平成4年に、合志南小で平成5年に開所した。出生や転入による人口増加、不況などの理由による母親の就労が増えたこともあり、年々、学童クラブへの申込が増えている。そのため、これまで10人を満たさず単独の開所が出来なかったが、ふれあい館のキッズクラブで対応していた第一小学校校区の児童が今年度は16人の申込があったが、校区内に単独の開所(立割区老人憩いの家)を行っている。国は、平成22年度からは、登録人数7人以上のクラブへの補助を好ましくないとしていることもあり、現在、第2学童施設は4校となっている。西合志東小学校及び合志南小学校は、住宅開発や転入等で学童数が急激に増加し、第3学童施設の要望が保護者会長名で提出されている。また、ふれあい館において、各小学校校区の学童クラブでは預りが困難な夜8時までの児童の預かりを行う。学童クラブがなかった西合志第一小学校校区の児童の放課後児童対策として、社協への委託による学童クラブが始まった。当初、西合志第一小学校の低学年児童及び他の学童クラブでは保育が困難な児童を受け入れているが、放課後の児童安全対策の面から、また夜間の預かり等の要望も多くなっており、定員の都合上受け入れができない状況となっていたため、第一小学校校区の児童については立割区老人憩いの家を活用し実施することとした。しかしながら、定員的にも送迎距離的にも西合志校区での受け入れができていないため、平成21年11月からJA南ヶ丘支所跡地を活用した夜8時までの預かりを行う学童クラブを実施した。
【業務の流れ】	○補助金関係 ①補助金申請書(添付:事業計画書、収支予算書、概要調書、請求書、規約)受付、審査 ②補助金決定伺い ③補助金決定通知書 ④補助金交付伺い(支出負担行為、支出命令書作成) ⑤実績報告書(添付:収支精算書、事業報告書) ⑥補助金支出等審査 ⑦補助金返還命令 ⑧補助金返還受け入れ ○委託関係 ①放課後児童対策事業計画打合せ、検討 ②事業施行伺い ③委託契約伺い ④委託契約締結 ⑤支出負担行為 ⑥実績報告書・請求書受付、審査 ⑦支出命令書
【主な予算費目】	補助金、委託料
【意見や要望】	市内全学童クラブで申込が増えており、西合志東小と合志南小が手狭になって第3学童クラブ建設の要望があがっている。第一小学校校区の学童クラブについては、立割区老人憩いの家を借し運営しており、施設利用についても教育委員会との協定書を取り交わしている。 また、委託先である社会福祉協議会(キッズクラブ、びーすクラブ)の利用者からは、当該事業が夜8時までの受け入れを行っているが、旧合志町校区内でも受け入れて欲しい等の要望がでている。 びーすクラブについては、利用人数が10人未満になる可能性があるため、廃止についても検討の余地がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
補助金事業については、西合志南小第2学童クラブが発足し、保護者が運営する学童クラブ9団体に国基準に基づいて、預り児童人数に応じた運営補助金の支払を行った。委託事業2クラブ(キッズ・びーす)については、合志市社協へ委託により実施した。	保護者が運営する学童クラブに国基準に基づいて、預り児童人数に応じた運営補助金の支払いを行う。また、第3学童クラブ建設の要望が出ている西合志東小学校及び合志南小学校の建設に向けて諸準備に入りたい。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 学童保育の登録児童数	人 国基準額改定に伴う増額
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
小学校低学年の児童	(単位) ア: 小学校1~3年までの児童数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・仕事と子育ての両立ができる。 ・児童の健全育成ができる。	(単位) ア: 学童保育の延べ利用児童数 人
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 事業量を図るため延べ利用数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標	ア	人	440	494	500	540	550	650	700	700	
② 対象指標	ア	人	1,903	1,967	2,000	2,027	2,000	2,100	2,200	2,300	
③ 成果指標	ア	人	90,794	101,874	110,000	115,313	12,000	13,000	14,000	14,600	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	4,810	4,126	28,482	27,145	30,028	32,000	33,000	34,000
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	2,809	3,041	15,242	15,173	16,039	18,000	18,500	19,000
	(A) 事業費計	千円	7,619	7,167	43,724	42,318	46,067	50,000	51,500	53,000	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	24	25	25	25	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	24	25	25	25	
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	2	0	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	160	70	110	420	0	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	659	282	444	1,709	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,278	7,449	44,168	44,027	46,067	50,000	51,500	53,000	

事務事業名	放課後学童保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 概ね目標を達成することができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 合志南小校校、西合志東小校では児童数の増で第3クラブ建設の要望があっているが、当年度の実施は厳しい状況である。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 地域の特性にあわせ補助事業並びに委託事業の形態をとっているが、特に保護者会運営主体への指導等により、効率的な運営ができる向上の余地はある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 この事業に類似する放課後児童教室(文科省)があるが、本市においてはその実現性が薄く統廃合する事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 国が規定する事業であり、今後、小学校毎に設置目標を設定しているため事業の削減は出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在が最低事務量であり、子ども・子育て支援法制定により、今後、益々事務量が増える可能性がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 本事業の対象は小学校3年生以下の児童でかつ放課後の時間帯に就労等の理由で家に保護者がいない児童と決まっているため、公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国が規定する事業であるため、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>開発による人口増や不景気による共稼ぎ世帯の増加により、益々学童クラブに対する需用が増加することか予想され、より効率的な運営が望まれている。</p>
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>子ども子育て会議設置により、具体的な学童保育方針が定められる予定であり、行政として重点施策のひとつとなるため今後、益々、充実した事業を進めていかなければならない。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>子ども子育て会議において、運営指針を定めることとなっているが、まだ、取組み段階であり、その実態が見えてこない状況にある。</p>																						